

学校目標 自主・誠実・友愛 めざす生徒像 気づき 考え 実行する生徒

めざす学校像 つながりの中で自立する力が育つ鼎中学校

【重点】「自立」のために育む4つの資質・能力

- ①意欲的・主体的に学び活動するための「自己肯定感」
- ②共同体のよき一員になるための「協同の精神とスキル」
- ③自ら判断して行動するための「思考力・判断力・表現力」
- ④未来を切り拓く原動力「ふるさと鼎・飯田・下伊那への愛着」

自己肯定感の基盤となる「生徒に満たしたい4つの感情」

- ・所属感、安心感
「居心地がいい！」
- ・達成感、有能感
「できた！わかった！」
- ・貢献感
「自分は役に立っている！」
- ・信頼感
「仲間とつながっている！」

地域と生徒のつながりの中で

○地育力に支えられた教育活動

- ・『放課後学習室』『職業出前講座』など、地域の皆様の協力を得て、生徒の学びを豊かにします。

○地域を題材にした学習・体験活動

- ・地域の『ひと・もの・こと』を題材にした学びをとおして、ふるさと「鼎・飯田・下伊那」への愛着を育みます。

○ボランティアへの主体的な参加

- ・『鼎中ボランティアステーション』を運営し、生徒が主体的に地域でのボランティア活動に参加して社会性や自己肯定感を育むことをめざします。

保護者と学校のつながりの中で

○PTAと連携した取組の充実

- ・保護者間のつながり、保護者と学校とのつながりの向上に努め、PTA活動の充実を支えます。

○保護者と教職員はパートナー

- ・保護者と教職員が生徒の健やかな成長のために協同するパートナーとして連携することを大切にします。
- ・思春期の子どもたちの自己肯定感を育むための道しるべ「**鼎中ライジングプラン**」を共有します。

生徒同士のつながりの中で

○「協同学習」による授業づくり

- ・相互の高まりを願いながら協同的に学ぶことによって、教科学力だけでなく、協同的に取り組むスキル、思いやりの心などの社会性や情操面も同時に高め、さらに学級の間関係の質的向上をめざします。
- ・ペアやグループなどによる対話活動によって、思考力・判断力・表現力の活性化をめざします。

○「協同の精神」を育成する諸活動

- ・授業、行事、特別活動など諸活動は支え合い高め合う「**協同の精神**」の育成をめざします。

「もう一人の自分」とのつながりの中で

○自らに問いながら取り組む黙働清掃

- ・清掃の時間は、指示を減らし、「気づき、考え、実行する力」を高めることをめざします。

○学習・諸活動における「振り返り」の重視

- ・学習や活動の終末における「振り返り(自己内対話)」を大切にし、学習内容の確実な定着や豊かな心の育成をめざします。

○「その子なりの学び」を支援

- ・生徒一人ひとりの興味・関心に沿った学びやその子に適した学び方を大切にした個別最適な学びを推進します。

教職員と生徒のつながりの中で

○生徒の主体性を尊重する教職員

- ・生徒の発想や自発的な行動を尊重することによって、自ら考え判断して行動できる力の向上をめざします。

○安心感が保たれる学級づくり

- ・生徒一人一人をよく理解することに努めます。また、学級がどの生徒にとっても安心して居られる場になるように、あたたかな雰囲気があり一人ひとりが尊重される学級づくりをめざします。
- ・悩みや困り感を抱えた生徒の心情に寄り添いながら関ります。

教職員同士のつながりを通して

○協同的に学び合う教職員

- ・授業づくりと学級づくりを研修会だけでなく日常的にも学び合い、教職員も高め合います。

○連携し、すべての生徒を支える

- ・教職員全員が連携しながら生徒一人一人の健やかな成長を支えます。
- ・問題の解決、悩みを抱えている生徒への支援はチーム体制で対応します。

○鼎小との連携・一貫教育

- ・小中の教職員が連携し、一貫性のある教育活動の創造をめざします。